

## リモ旅リアル旅

巣ごもりの日々、近隣ウォーキングもジョギングの吐く息を避けつつ3密回避で励みます。そろそろ小宴小旅行も始めたい。東京アラートやウィズ・コロナやカタカナ語が先行し、標的の「夜の街」で真面目な店は、たまったもんじゃありません。知り合いの温泉宿主人は「お客さん、<sup>まとも</sup>どんどん来てほしい。けど、どんどん来ないでほしい」。賑わいは欲しいがコロナは怖いと悩み、消毒徹底、マスクや検温もとより防護パネル、換気、客数制限、部屋食、何でもやってギリギリ必死です。国内旅行消費は昨年、年間21兆9千億円に伸びましたが今年3月は1年前から半減、5月の宿泊数は8割減です。さらに同月のインバウンド(訪日外国人)数は99.9%減で限りなくゼロに。ダメージは甚大です。

国は20年度補正予算で観光喚起策「Go toキャンペーン」に1兆7千億円を投じ、宿泊や飲食などに補助金を「付与」します。付与とは上から目線ですが、いただけるならありがたい。でも、その具体例は驚きです。1人1泊5万円の旅行者に2万円を、1泊2万円だと1万円も国費を出すんです。Go toは富裕層向けなのか。このコラム筆者は旅の記事で紹介する宿は1泊1万5千円止まりです。5万円もの宿に泊まる人でなくても、コロナ収束へ感染



「病魔退散 アマビエ騎乗の図」馬を駆ってリアル旅？  
漫画家・ヒサクニヒコさんからいただいたコロナお見舞いはがき

防止に手厚く、安心のめどさえつければ「付与」無くとも、みんな出かけます。

Go toの旗振る一方、「新しい生活様式」は旅行を控えめに自粛を求め、通販やテイクアウトを勧めています。通販が増えて外出が減って観光地の賑わいはどうなりますか。テイクアウトが増えたら過剰包装でプラゴミの山が心配です。テレワークがもてはやされ写真や動画をネットで楽しむリモートの旅(リモ旅)を頼りにする新様式は、より丁寧なPR紹介を期待できますが、旅の感動体験は臨場感があってこそ。温泉にゆったり浸かり絶景を眺め、山海の美味に舌つづみ。やはり旅はリアルがいい。文・写真 林 莊祐